

[様式 2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	(「 技術提案募集の内容」 の該当番号を記載願います)
御提案件名	可塑性モルタルによる隙間の充填
御提案者	株式会社 安藤・間
<p>1 . 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>可塑性モルタル注入の有効な適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狭隘で複雑な形状の空間で隙間なく大量の注入が必要な箇所。 ・ 建屋間ギャップの端部や建屋間ギャップ部。 <p>可塑性モルタルの特徴</p> <p>可塑性モルタルはトンネルの覆工コンクリートと周辺岩盤との隙間を充填することを目的に開発された隙間充填材料で、以下の特徴を有す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可塑性を有し、限定注入に適す。 ・ 地山の微小な亀裂やコンクリートのひび割れに散逸しやすく、効率的な注入が可能。 ・ 水に対しての分離抵抗性が大きく、水中分離せず、均一で安定した強度が得られる。 ・ コンパクトな設備で、状況に応じたレイアウトが可能。 ・ プラントと注入部は 250m 程度離れていても施工可能。 <p>仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成材料：セメント・ナイトミルク + 可塑化材 (2 種類：ポリマー系、セメント鉱物系) の 3 液混合 ・ 密度 (kg/m³) : 1300 ~ 1400 ・ 可塑性状、硬化時間は任意に調整可能 <p>性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注入を止めればゲル化し、漏出はとまる。注入圧力を上昇すればある程度は細部へ注入可能。 	
<p>2 . 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 実用化され、適用実績あり ・ 開発・実用化に向けた課題・留意点 使用目的に応じた材料配合調整が必要。 ・ その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 特許なし 	